

No.12-2004

平成16年12月31日発行

12月例会・卒業式を終えて

去る12月14日(火)に、2004年度12月例会並びに卒業式が、アキタキャッスルホテル放光の間にて行われました。

今年最後の12月例会では、褒賞の授与と理事長バッジ及びプレジデントリーフの交換が行われました。褒賞を授与された団体・個人の方々、誠におめでとうございます。褒賞授与後、松村理事長から谷口次年度理事長予定者に、しっかりと引継ぎが執り行われると、2004年度の最後を締めくくる例会は、滞りなく閉会を迎えました。

そして続く卒業式では、OB会員・卒業生入場の前に、大型スクリーンに今年10月に水戸で開催された全国大会の際の杏里のライブ映像が映し出され、会場の雰囲気もいよいよ盛り上がりを見せ始めました。今年の卒業生は昭和39年生まれの総勢19名で、内17名の方々が出席され、それぞれの経歴とともに個性豊かなスライドが映し出される中でのご入場となりました。理事長挨拶の後、卒業生に卒業証書と記念品の目録が手渡され、一人一人に宛てたJC活動での思い出を一言ずつ話され、感慨深い授与となりました。

その後、式は乾杯、歓談と続き、アトラクションを迎えました。場内には今年大ブレイクした「マツケンサンバ」ならぬ「39サンバ」が響き渡り、JCダンスが見事なメイクと衣装で卒業生に扮しながら華麗なダンスで登場し、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。卒業生の皆様もきっと大切な思い出として心に残るものとなったことと思います。田村副理事長からの送辞も、卒業生一人一人のエピソードを交えた心こもった温かな言葉となりました。

また、卒業生を代表して、矢沢郁雄君から答辞を頂きました。これまでのJC活動を振り返った熱い思いが込められており、私たちに大きな感動を与えて頂きました。卒業生の皆様には、これから更なる飛躍が待っていることとお祈り申し上げます。本当におめでとうございます。

最後になりましたが、この度の卒業式に際し遠藤委員長の「卒業生を感動させよう」という言葉の基、多くの方々が賛同し、絶大なご協力を頂いたことに感謝の気持ちでいっぱいです。皆様、本当にありがとうございました。
渉外委員会 西村幸彦



クリスマス会報告

去る12月5日(日)秋田キャッスルホテル内アゼーリアにおいて、恒例のクリスマス会が開催されました。

本年度、事務局として最初で最後の担当事業でもあり、平静を装いながらも2週間前からかなり気合いだけが入っていました。

そして今回は事業費もあることから、「できるだけ参加される方に気軽に参加してもらいたい」という想いから、通常より登録料を抑え、尚且つクオリティを下げない方向でプランを練らせていただきました。

当日は誰一人遅刻することも無く、メンバー、御家族合わせて90名を越す参加者で会場が埋め尽くされ、いかにメンバー各々が自分の御家族を大事にしているか再確認できたのではないかと思います。

食事の後、事務局次長が扮するサンタ&トナカイから子供全員にクリスマスプレゼントが配られ、クリスマスムードが高まる中、アトラクションが始まりました。

秋田JCの今年の活動報告としてのスライドショーは前半と後半に分け上映し、BGMには事業のテーマソング?を用いました。各事業に参加されたメンバーは感慨深げに見ていたようです。

その後アトラクションに移る際、若干もたつきがありました。それをフォローするかのよう急遽、鈴木錦一監事より高級温泉旅館のチケットが当たるじゃんけん大会が行われ、雰囲気壊さずに進行することが出来ました。鈴木監事ありがとうございます。

その後、マジックショー・ゴスペルと行われ、皆さん楽しく一時を過ごせたように思います。

最後に松村理事長、司会を勤めて戴いた石田委員長、そして次長が体を張って着ぐるみを着用し、参加されたみなさんを和ませて戴き、ありがとうございました。

理事長のは全く予想外でした。

事務局長 松本 大



12月4日 秋田大学での人間カプログラムについて

去る12月4日(土)に今年2回目となる秋大での人間カプログラムが開催されました。我々にとって最後のプログラムとなるため、失敗出来ないプレッシャーが阿部委員長、熊澤副委員長、中部高橋さん、佐藤宏樹君、そして私の委員会メンバー5名に襲いかかりました。まして今回は通常の倍の3年生のみ約70名が対象、教室も講堂スタイルのためテーブルを囲んで出来ない...。しかし、心強い事に松村理事長、青井、長谷川両常任、遠藤委員長、高田事務局次長、熊澤まゆこ君にお手伝い戴き、計11名で午後2時40分にスタート致しました。

まずは「自分の性格分析」で、新たな自分発見してもらい、「ジョハリの窓」で自分の可能性を広げる事の大切さを学んでもらいました。そして「HANAUTA」ロングバージョンを放映。続いてVTRの感想を交えながら、自分を見つめ直す事や就職につ

いてなどの「ディスカッション」を6グループに分けて行ないました。最後に阿部委員長のまとめが入りプログラムは終了。その後谷口副理事長、渡部羊三常任も参加され、17名の学生相手に実際に就職活動で役立つ面接でのポイントなどの質疑応答が活発に行なわれました。(公務員や大企業志望者が多い事になったメンバーもありましたが...)さらに残った11名の学生達と懇親会で多いに盛り上がった事は言うまでもありません。

1年間、高校生や大学生相手に若いパワーを吸収できたこの委員会と協力してくれたメンバーに感謝です!!是非次年度以降は学生達が公務員や大企業ではなく、JC会員の企業が第一志望!と言われるように秋大生との太い絆を築き上げて行って欲しいと思っています。ねっ、学生に大人気だった遠藤委員長!

人間カ開発委員会 運営幹事 藤井 政徳



卒業生一言コメント

4年間の短い期間でしたがありがとうございました。皆様の今後のご活躍を心より祈念申し上げます。
＜相場 宏泰＞

長い間お世話になりました。次年度「谷口丸」のご活躍と秋田JCの更なる飛躍の年になる事をご祈念致します。
＜石井 浩一＞

多くの事を学び、沢山の仲間ができました。大変お世話になり有難うございました。今後も宜しくお願い致します。
＜小笠原和則＞

長～い年月大変お世話になりました。秋田青年会議所そして皆様にめぐり会え幸せでした。ありがとうございました。
＜籠谷和加子＞

大変お世話になりました。秋田JCとメンバー全員が一步一步確実に目標へと歩いていけることを願っています。
＜木場 寛晶＞

3年半という短い期間で皆様から沢山の財産を頂戴致しました。皆様に心から感謝申し上げます。お世話になりました。
＜黒澤 貢＞

5年間という短い在籍でしたが、多くのメンバーと出会い、そして沢山の思い出を頂き本当に感謝申し上げます。
＜鈴木 和彦＞

癒し系の監事の鈴木です。満足したJCライフを過ごせました。皆様もJC活動に詰まったら温泉で充電しに来て下さい。
＜鈴木 錦一＞

9年間大変お世話になりました。私のような不良会員がよく無事に卒業出来たなあと思います。チョー気持ちいい。
＜鈴木 建司＞

JC Life楽しかったです。JCメンバーに感謝しておりますし本当にありがとうございます。そして、今後もよろしく！
＜高橋 秀暢＞

短い間でしたが、大変お世話になりました。今後の皆様の活躍をご祈念申し上げます。＜珍田 秀人＞

落第することなく、無事卒業する事ができました。ありがとうございました。皆様もお健やかに過ごしてください。
＜中村 康子＞

JCで培った絆は永遠と信じています。今まで有難う！そして、これからも宜しく！＜奈良依里子＞

秋田青年会議所の隆盛をご祈念申し上げますと共に、在籍中ご縁のありました全ての方々に拝謝申し上げます。
＜長谷川 一＞



お世話になりました。社団法人秋田青年会議所の今後、益々の御発展を御祈念致します。＜畠山 佳男＞

僅か1年の正会員でしたが、皆様の温かい友情に感謝です。秋田に永住ですので、今後ともよろしく願いいたします。
＜三浦 正博＞

沢山の宝物をJCから戴きました。皆様に「ありがとう！」の気持ちでいっぱいです。大変お世話になりました。
＜矢沢 郁雄＞

JCに在籍できたことは幸運でした。そして勉強させて戴きました。今後ともよろしくお願い致します。
＜山岡成司郎＞



新年例会のご案内

2004年も残す所あとわずかになり、当秋田青年会議所も2005年度の新しい船出が近づいて参りました。谷口満州美次年度理事長を船頭とする谷口丸の船出、そして2005年度「本年度はこの用な方針でいくんだ!」という熱い思いのお披露目という意味深い例会「2005年度新年例会式典並びに懇親会」を下記の通り開催致します。

当日はOBの先輩方、ご来賓の方々、来訪JCの方々等、約230名の皆様をお迎え致します。新年例会の運営にあたりましては担当である我々青少年育成委員会メンバーが一丸となって努めさせて戴きますが、各委員会の皆様のお力添え、ご協力も併せて宜しくお願い致します。

記

日 時	2005年1月13日(木)	
場 所	シャインプラザ 平安閣	
時 間	定時総会終了後	
写真撮影	17:45 ~	2階万葉の間
新年例会式典	18:00 ~	4階天翔の間
懇親会	19:10 ~	2階瑞雲の間

2005年度青少年育成委員会委員長予定者 滝田 敏喜

理事長コラム



12月1日、北朝鮮へ拉致されたことが明らかになっている横田めぐみさんのご両親がご来秋された。私は図々しくも講演会場の控え室に押し掛けお二人と面会させて頂いた。

めぐみさんが北朝鮮に拉致されたと分かったのが平成9年。

お二人はそれまでの19年間、普通の誘拐事件として子供を捜してきた。行方不明になった半年後には新潟で一年後には全国にチラシをまいた。めぐみさんの写真は私も学生時代から記憶があるのはその為だ。だから横田さんにすると偶々誘拐犯が北朝鮮だったただけなのだ。一時は新潟で9年間監禁されていた少女と同一犯人だろうと言われていたそうだ。犯人が分かっているのに何故?がお二

人の正直な心境だろう。誰もがおかしいと思っていることが当たり前に行われていく日本。他の問題と原点は同じように思う。私は来年、日本JCの「憲法問題・地位協定関係委員会」出向させて頂く。先日最初の顔合わせが東京で行われたが、学生以来久しぶりに大学の授業に出た様だった。折角の機会、知識レベルをあげて時代の傍観者にならず今の時代を生きている一人として責任を果たしていきたい。「覚悟を決めること」今年JC活動をさせて頂き再確認したことである。この一年、沢山エネルギーとストレスを蓄えさせて頂いた。来年は今年の5倍は出来そうだ。楽しみである。

私の任期も2004年一杯。一年間勝手な事を好きに書かせて頂きました。一方的に生意気にも勝手な事を言わせて頂き誠に申し訳なく思います。ご容赦下さい。内容に関しましては私の本音ですので是非個別にご指導下さい。よろしくお願いたします。一年間ありがとうございました。

(社)秋田青年会議所理事長 松村讓裕

編集後記

師も走る12月、2004年ももうじき次の年にバトンを渡します。年末になると一年があっという間に通り過ぎたかの様に感じます。2005年が皆様に良い年であるようにお祈り申し上げますと共に、本年JCニュースの原稿を戴きましたメンバーの皆様へ心より

感謝申し上げます2004年度JCニュースを締めくくらせて戴きます。御協力、本当にありがとうございました。

情報サービス委員会 副委員長 矢沢 郁雄